

令和2年度

事業報告

法人全体の管理・他の部門が事業を遂行しやすい環境をつくる

重点目標に対する総合評価

一年を通じて新型コロナウイルス感染症の影響により、事業計画立案時には想像していなかった事態となり、当初の計画どおり進めることができなかった。会議・研修・イベント等、多人数が集まる機会は中止または延期となり、日々報道される感染状況に振り回されながら、できる限りの感染予防対策（手指消毒、検温、アクリルパネル設置など）を実施しつつ法人運営に努めた。

組織管理

1 会員の募集

法人の目的に賛同していただいた方に、1口500円の会費を募る。また、集められた会費は地域福祉活動に有効活用する。

(1) 一般会員 4, 116戸（貞光 1,937戸・半田 1,775戸・一字 404戸）

(2) 特別会員 28名（理事 11名・監事 2名・評議員 15名）

2 理事会の開催

開催概要	審議内容
第1回 理事会 決議の省略 理事 11名 提案日 令和2年5月27日 決議日 令和2年6月1日	令和元（平成31）年度 事業報告及び収支決算について 令和2年度 補正予算（第1号）について 社会福祉基金助成 完了報告について 評議員の推薦について 評議員選任・解任委員の選任について 評議員選任・解任委員会の招集について 第1回 評議員会の開催について 専決処分の承認について（生活困窮者一時立替金の支出） 専決処分の承認について（災害等被災見舞金の支出）
第2回 理事会 決議の省略 理事 11名 提案日 令和2年9月10日 決議日 令和2年9月16日	第16回 つるぎ町福祉大会について 生活困窮者一時立替金にかかる徴収不能処分について 専決処分の承認について（組織規程の一部改正） 専決処分の承認について（会計規程の一部改正） 専決処分の承認について（補正予算（第2号）） 専決処分の承認について（補正予算（第3号）） 専決処分の承認について（災害等被災見舞金の支出）

第3回 理事会 決議の省略 理事 11 名 提案日 令和3年2月19日 決議日 令和3年3月1日	令和3年度 事業計画 及び 収支予算の承認について 令和3年度 社会福祉活動助成の承認について つるぎ町善意銀行規程の改正について 第2回 評議員会の開催日時及び場所、議題について 専決処分の承認について（補正予算 第4・5・6・7号） 専決処分の承認について（生活困窮者一時立替金の支出） 専決処分の承認について（災害見舞金の支出） 職務執行状況報告について
--	---

3 評議員会の開催

開催概要	審議内容
第1回 評議員会 決議の省略 評議員 15 名 提案日 令和2年6月15日 決議日 令和2年6月19日	令和元（平成31）年度 事業報告及び収支決算について 令和2年度 補正予算（第1号）について
第2回 評議員会 決議の省略 評議員 15 名 提案日 令和3年3月22日 決議日 令和3年3月26日	令和3年度 事業計画 及び 収支予算の承認について 専決処分の承認について（補正予算 第4・5・6・7号） つるぎ町善意銀行規程の改正について

4 評議員選任・解任委員会の運営

開催概要	審議内容
第1回 評議員選任・解任委員会 委 員 5 名 開催日 令和2年6月10日 場 所 つるぎ町地域拠点センター	評議員の選任について ※ 1名の退任に伴う補欠選任

5 福祉サービスに関する苦情解決

苦情対応の実績はなかった。

★6 発展・強化計画の進捗管理

第2期（2018年度～2020年度）計画の最終年度であり、重点事項として挙げていたが、進めることができなかった。

7 個人情報保護に対する対応

個人情報保護規程に則し、利用者等の個人情報について適正な取扱いの確保に努めた。

人事管理

1 役職員の研修

新型コロナウイルスの感染拡大を懸念して実施しなかった。

★2 職員の適正配置

規程を改正して3部門制に変更するとともに、事務分掌により職員の適正配置に努めた。

3 職員福利厚生等の充実

ソウエルクラブへの加入や、健康診断の実施等、福利厚生の充実に努めた。

4 職員間の情報共有

係長会議（隔月開催）や定例会議（月末開催）を通じて、情報共有に努めた。

★5 労働環境の改善

働き方改革の一環として、常勤非正規職員の給与体系を見直した。また、新型コロナウイルス感染症には、マスク着用、手指消毒、アクリル板の設置、検温等の感染症予防対策に努めた。

財務管理

1 会計処理

適正な会計処理に努めた。

2 監査の実施

実施名	実 施 内 容	実施日及び場所	参加人員
定期監査	令和元年度(12月～3月分) 社会福祉事業（合計）	令和2年5月13日 地域拠点センター	監事 2名
決算監査	令和元年度(4月～3月分) 社会福祉事業(合計) 令和元年度 事業報告 及び 会計決算	令和2年5月13日 地域拠点センター	監事 2名
定期監査	4月～7月分 社会福祉事業（合計）	令和2年8月7日 地域拠点センター	監事 2名
定期監査	8月～11月分 社会福祉事業（合計）	令和2年12月9日 地域拠点センター	監事 2名
一般指導 監 査	令和元年度 事業の実施状況及び会計業務	令和2年12月15日 地域拠点センター	県民局 2名 町福祉課 1名

3 備品及び固定資産の管理

車両・パソコン等、必要に応じた購入・廃棄など、適正な管理に努めた。

4 団体の会計処理

団体の適正な会計処理に努めた。

広報

1 町広報誌等を活用した情報提供

町広報誌「広報つるぎ」に掲載または同封。I P 告知放送サービスを活用し、各種イベントの案内や事業に関する情報提供を実施。

2 ホームページによる広報

本会が行う福祉活動や幅広い福祉の情報を周知するため、ホームページにより情報を公開すると共に事業内容等の情報を発信している。

3 一般・特別会員への報告・周知

昨年度の事業報告及び収支決算と今年度の事業計画及び収支予算を記載した活動報告書を、7 月末発行の町広報誌に同封して全戸配布した。

地域福祉活動推進部門

地域を基盤としたソーシャルワークを行うこと

重点目標に対する総合評価

新型コロナウイルス感染拡大防止のため多人数集合型事業のほとんどは中止したが、広報紙「しゃきょうのかわらばん」を2回発行し全戸配布するなど、住民の地域福祉への意識の醸成や啓発活動を行った。個別の生活支援は、従来通り、必要に応じて部門間で情報を共有し、関係機関との連携を行った。また、在宅福祉サービス部門の協力を得てサービス利用者の生活課題を整理し、新しい生活様式での支え合い活動や新たなサービス開発に向けて具体的に検討を進めた。

総合相談

1	弁護士相談	予約相談	計	4回 開催	相談件数	11件
2	司法書士相談	予約相談	計	8回 開催	相談件数	14件
3	理学療法士相談	月1回	計	11回 開催	相談件数	53件

個を地域で支える援助

★1 ひとり暮らし高齢者安心事業（受託先：つるぎ町）

65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯に対して、安心生活訪問員が定期的に訪問活動を行うことにより安否確認や不安解消、情報の提供などを実施。孤独感や不安感をなくし、安心して生活できるよう住民との関係づくりに努めた。また、訪問活動を通しての相談事項について、関係機関等と連携し解決を図った。災害時の避難誘導等、支援者の有無に関するアンケートを実施、結果を基に民生委員等と連絡・対応先の調整を行った。

令和3年3月末現在

訪問対象者数	579名	（半田 226名	貞光 233名	一字 120名）
延べ訪問件数	13,910件	（半田 3,280件	貞光 5,431件	一字 5,199件）
要対処相談件数	177件	（半田 111件	貞光 41件	一字 25件）

相談事項	不安 解消	介護 サービス	健康 医療	家計 経済	家族 関係	社会 関係	権利 擁護	その他	合計
	49	52	22	3	1	11	0	47	185
対応策	個人	家族	地域 住民	民生 委員	民間 会社	公的 機関	行政	社協 訪問員	合計
	2	5	10	4	27	15	88	78	229

2 みんなに安心お届け事業

安心お届け専門員不在により定期訪問は行えなかったが、地域住民や民生委員からの情報・相談時に訪問し状況を確認。医療機関への受診の働きかけや介護サービスの利用、関係機関へつなぐことで生活上の課題について解決を図った。

3 生活困窮者自立支援事業（受託先：徳島県）

相談支援員を配置し、何らかの悩みを抱えている方や経済的に困窮している方の相談に応じ、事業利用申込をした相談者と共に目標（プラン）を立て、支援・助言を行った。緊急の際には支援物資の提供や、生活課題の解決に向けて関係機関との連携によるチーム体制で支援した。

相談件数	利用申込件数	目標（プラン）作成件数		
		家計相談	生活支援	就労支援
25	13	10	5	5

※プランは重複しており、利用申込件数とは異なります。

4 顔なじみ見守りネットワーク事業

民間事業者と協定を結び、地域住民の異変等を発見したときに迅速に対応できるようにしているが、事業開始当初から相談件数が減少しており、協力業者への情報提供、情報共有の方法を考える必要がある。

○ 協定締結業者数 25社

○ 相談件数 3件（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

対象者	ひとり暮らし 高齢者	親子世帯	複合世帯
件数	1件	1件	1件
相談内容	安否確認 1件	安否確認 1件	精神・生活 1件

★5 安心カプセル配布事業

ひとり暮らし高齢者等に対して、災害時・緊急時に必要な情報を保管する安心カプセルを配布しているが、新たな対象者への配布、情報の更新が進んでいない。

・申請件数 2件 ・設置件数 4件 ・累積設置件数 589件

6 スポーツ・レクリエーション教室開催等事業（受託先：つるぎ町）

(1) 第14回 つるぎ町障がい者スポーツ大会

新型コロナウイルスの影響により中止

(2) 日帰り研修

新型コロナウイルスの影響により中止

個を支える地域をつくる援助

1 いきいきサロンの支援・拡充

住み慣れた地域で近隣住民同士が定期的に集い交流・情報交換することで、孤立防止や介護予防に役立っているが、役場が進める「いきいき百歳体操」との同日開催や人口減少・超高齢化により中止する地区も出てきている。

(1) 開催カ所（カッコ内は前年比）

半田 12カ所、貞光 16カ所（－1）、一字 9カ所 合計37カ所

(2) いきいきサロン担い手交流会

新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

2 地域懇談会及びふれあい給食会（配食含む）の開催支援と資金助成

会食・配食を実施した場合、年2回まで1食あたり400円を助成した。感染症対策のため地区の例会を自粛している代わりに何か活動をしたいという相談があり、初めて配食をした地区があったが、助成地区、延べ回数とも減少している。

◇ 助成実績（順不同）※丸囲い数字は回数、数字は延べ人数、カッコ内は配食数

半 田	貞 光	一 字
木ノ内南 ② 48 (37)	広 瀬 ① 35 (35)	葛籠・桑平 ② 34 (10)
日 浦 ② 50 (15)	平 野 ① 18 (2)	一 字 ② 20 (6)
敷 地 ① 10 (5)	吉 良 ② 90 (60)	赤 松 ② 105 (77)
小野上西 ① 65 (65)	柴 内 ① 19 (13)	明 谷 ① 26 (14)
4カ所6回 延べ173(122)人	4カ所5回 延べ162(110)人	4カ所7回 延べ185(107)人
合計 12カ所 18回 延べ520(339)人		

3 第3期地域福祉活動計画の推進

一字応能地域をモデル地区として第3期地域福祉活動計画を策定しているが、具体的な活動把握が出来ておらず、その他の地区へ波及するに至っていない。

4 福祉推進委員との連絡調整及び地区会活動助成金の支給

行政区の駐在員に対して福祉推進委員を委嘱しているが、毎年交代する地区も多く、その役割を果たしてもらうことが難しくなっている。地区会活動に対して助成金を支給しているが、年度末に提出してもらっている活動報告書によると「何も活動していない」という地区もあるため、助成金の在り方について見直す必要がある。

5 全町一斉河川・道路清掃

皆様のご協力により、7月5日（日）に全町一斉河川・道路清掃を行った。地域が一緒に活動することにより住民同士の絆を深め、今後の地域活動に繋がるきっかけとなった。活動の時期内容は地域によって異なる。（清掃内容：河川清掃、道路の草刈り、集会所周辺の清掃等）

当日は、午前8時30分より建設業協会の協力（ダンプカー持込み）をいただき各地区のゴミ収集を行い、収集された量は、可燃ゴミ 1,960 kg、不燃ゴミ 300 kg 合計 2,260 kgであった。なお、事故やケガなど万一のときに対処できる傷害保険に加入している。

例年、開催しているが、地域によっては高齢化が進み作業が負担になる地域が増加している。また、可燃ゴミ・不燃ゴミのみ回収するとしているが、刈り取った草が多く、ゴミを拾うという清掃ではなくなってきたため、関係機関と話し合い検討していく必要がある。

6 社会福祉大会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、式典及び記念講演を中止したが、永年社会福祉の発展に貢献された方々の功績に対し敬意と感謝の意を表し表彰するとともに大会資料を作製し関係者に配付した。今後、地域活動を進める上での情報等の提供の場として開催していく。

(1) 第16回 つるぎ町社会福祉大会

開催日 令和2年10月24日（土）

主 題 心豊かに住み続けたい町つるぎをめざして

表彰者 大会長表彰1名・大会長感謝状7名、ダイヤモンド婚12組・金婚9組

ボランティアセンター事業

- 1 ボランティアをしたい方と、ボランティアのサポートを求めている方をコーディネート（つなぐ）したり、ボランティア活動に関する情報の収集・提供を行う。

新型コロナウイルスの影響により活動をやむを得ず休止する団体もあったが感染症対策を徹底したうえで活動を行った団体に関してはコーディネートやサポートを行った。

- 2 各種養成講座、講演会、福祉教育を通した啓発活動を実施し、ボランティア活動の活性化並びに、裾野拡大を図る。

各種養成講座については新型コロナウイルス影響により中止となったが、福祉教育に関しては半田小・中学校、貞光小・中学校で感染症対策を徹底したうえで実施した。

団体運営支援及び協力

1 手をつなぐ育成会

会員及び会費を町内全戸募集、賛助会費収入実績 914,400円（3,048戸）

お寄せいただいた会費をもとに、知的障がい（児）者の福祉事業として、小・中学校の特別支援学級、小規模通所作業所、地域活動支援センターへの支援並びに交流会や年末在宅激励訪問等に使わせていただいた。

2 共同募金委員会

徳島県共同募金会より依頼され、つるぎ町共同募金委員会を事務局として支援する。
つるぎ町共同募金委員会より助成を受けて、事業経費の一部として使用させていただいた。

3 身体障害者連合会

4 遺族会連合会

5 献血活動への協力

町内で実施される献血活動の連絡調整に協力

令和2年7月2日（木） つるぎ町役場分館前（9:30～12:30、13:30～16:00）

400ml 50名 不採血者数 4名

令和3年2月26日（金） つるぎ町役場分館前（9:30～12:30、13:30～16:00）

400ml 39名 不採血者数 12名

6 関係機関との連携・協働

(1) 社会福祉法人清寿会との連携協定による「無料出張講座」の実施

新型コロナウイルスの感染拡大を懸念して実施しなかった。

団体活動への助成事業

1 団体への助成（財源：社会福祉基金）

(1) 助成申請 5件 449,700円

(2) 助成決定 5件 449,700円（令和2年3月9日 理事会で承認）

(3) 実施報告 5件 325,054円

2 団体等への助成（財源：善意銀行事業）

(1) 払出 善意の心を効果的に社会福祉の事業や活動に活用

ア. 特別払出金 2件 105,000円（福祉施設、中学校文集製本代）

イ. 物品 3件 松葉杖1組、椅子1脚、衣類・雑貨等一式

ウ. 指定払出物品 2件 車椅子3台

エ. 事業費 4件 925,538円（敬老がき、貸与事業、生活困窮、チャイルドシート）

(2) 預託 福祉事業に理解をもって預託（寄附）いただいた善意の心

ア. 預託金 3件 180,000円

イ. 物品 4件 衣類、マスク、ウェットティッシュ、布団、電化製品、
車椅子、ポータブルトイレ等

ウ. 指定預託金 1件 50,000円

エ. 指定預託物品 2件 車椅子3台

生活支援

1 日常生活自立支援事業（受託先：徳島県社会福祉協議会）

新規契約 1名、契約終了 4名。

新規契約者は、短期記憶が不十分であり、支援に困難はあるが、本人の意思を尊重しながら関係機関と協力し支えていく。契約終了者は、町外の施設入所による契約終了が1名、入所先の施設が金銭管理等を担ってくれる事となり本人からの申し出による契約終了が1名、本人死亡による契約終了が2名となった。

契約件数 7件（令和3年3月末 現在）

（内訳）認知症高齢者 2名、知的障がい者 2名、精神障がい者 2名、その他 1名

2 福祉用具、福祉車両、レクリエーション用具の貸与事業

新型コロナウイルス感染症の影響で地域活動を自粛する地区も多く貸与件数が減った。
新たに、カセット式たこ焼き器、車イス2台が増えた。

福祉用具（車イス） 28件

福祉車両（車イスを搭載できるもの） 19件

レク用具（カラオケ、わたがし機等） 6件

★3 チャイルドシート貸出事業

新生児から6歳未満を対象に無償で貸出。適正な保有台数について調整を行う。

種類（BC：新生児～3歳 J：3歳～5歳 ※体格により5歳以上も貸出可能）

	令和元年度		令和2年度	
	BC	J	BC	J
保有台数	81	57	89	51
貸出（継続）	48	26	55	27
（新規）			18	6
在庫	2	18	16	18
廃棄	9	0	0	21
出生数	20人		24人	

4 点字・声の広報等発行事業（受託先：つるぎ町）

つるぎ町に居住する視覚障がい者等に対し、情報取得の手段として、つるぎ町広報誌および暮らしのカレンダーをつるぎ町たまゆら友の会が朗読してカセットテープに録音し郵送した。

(1) 利用者 4名（令和3年3月末 現在）

個人への資金援助

1 生活福祉資金貸付事務事業（受託先：徳島県社会福祉協議会）

新規貸付は 0 件であった。また、償還 1 名により、貸付件数は 12 名（15 件）となった。

資 金 種 類	R2年3月 までの 貸付件数	R2年度 貸付件数	償還 件数	延滞利子 他免除件数	現在 貸付件数
総合支援資金	0	0	0	0	0
生活支援費	0	0	0	0	0
福祉資金	5	0	1	0	4
更正資金	3	0	0	0	3
障害者更正資金・生業費	1	0	0	0	1
障害者更正資金・生技能習得費	0	0	0	0	0
住 宅 資 金	1	0	1	0	0
障害者自動車入資金	0	0	0	0	0
冠婚葬祭費	0	0	0	0	0
就職等支度費	0	0	0	0	0
緊急小口資金	0	0	0	0	0
教育支援資金	11	0	0	0	11
教育支援費	3	0	0	0	3
就学支度費	8	0	0	0	8
合 計	16	0	1	0	15

特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、休業や失業等により収入が減少し生活資金にお悩みの世帯に向け、緊急小口資金等の特例貸付を実施した。

特例貸付	R2年3月 までの 貸付件数	R2年度 貸付件数	償還 件数	延滞利子 他免除件数	現在 貸付件数
緊急小口資金	—	32	—	—	32
総合支援資金	—	13	—	—	13
合 計	—	45	—	—	45

★2 生活困窮者一時立替金（財源：社会福祉基金）

つるぎ町に居住し、公的保護または補助などを受けておらず、生活に困窮していると認められる者に対して生活費の一時立替を行う。財団法人つるぎ町社会福祉基金の解散に伴い、残余財産の寄附を受けて事業を引き継いだ。

(1) 生活困窮者に対する金銭の一時立替

ア. 一時立替	3件	210,000円	（令和2年度中の実績）
イ. 償還済額	26件	311,500円	（令和2年度中の実績）
ウ. 徴収不能	1件	55,000円	（令和2年9月理事会で承認）
エ. 償還残額	18件	947,000円	（累計：令和3年3月末現在）

※ 所在不明の為、徴収不能となっていた1件の所在確認ができ、10,000円償還済。

3 災害等被災見舞金（財源：社会福祉基金）

今年度は、3件の災害により、合計400,000円を支出した。

4 小規模災害見舞金の交付（財源：善意銀行）

今年度は、4件の災害により、合計150,000円を支出した。

5 日常生活用具貸与料金等助成（財源：善意銀行）

今年度の助成実績はなかった。

在宅福祉サービス部門

在宅での生活を継続していけるように支援する

重点目標に対する総合評価

専門性やケアの質を高めるために職員間ミーティングの実施や他の事業所では取り組みにくい困難ケースの受け入れ態勢を強化、社協内部での連携を強化するため他部門との合同研修を実施した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として国の緊急包括支援事業を活用し、感染症対策を徹底した上でサービス提供を継続して実施した。

介護サービス

★1 居宅介護支援事業（職員体制：介護支援専門員4名 ※1名は居宅訪問介護と兼務）

今年度の年間作成件数は対前年比、要介護86件増、要支援者24件増、認定調査は6件増、介護報酬は約10%の増となった。山間地域や困難事例への対応が多く、新規依頼をお断りしなければならないケースも出ているが、今後、より地域や関係機関との連携を強化し、効率的な対応を図っていく。

(1) 居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	53	54	53	56	54	57	60	59	63	64	64	61	698

(2) 介護予防支援事業（地域包括支援センター受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	35	32	37	39	36	36	34	34	33	36	36	38	426

(3) 認定調査：認定調査員による訪問調査

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	7	5	10	7	6	8	8	15	5	10	6	10	97

★2 居宅訪問介護事業（職員体制：ホームヘルパー12名、内登録ヘルパー5名）

介護度や障がいに応じて利用者の在宅生活を支える対応を行った。本会はつるぎ町内の在宅福祉サービスの低下を防ぐためにも事業を継続しているが、報酬単価が低いことや介護人材の確保が課題となっている。また、利用者の希望に沿う派遣調整に苦慮している状況がある。

今後は、ケアプランに合致し、利用者の心身状況や思いに寄り添ったものとなっているかを精査し、実情にあったサービスとなるよう提案していく。また、利用者確保にも努め、事業を継続できるようにしていく。

(1) 介護保険事業

① 居宅介護事業：要介護認定者へのヘルパー派遣

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	29	29	34	37	36	33	31	31	30	31	30	27	378
利用回数	311	299	351	373	343	304	342	309	322	286	291	318	3,849

② 第一号訪問事業：要支援認定者へのヘルパー派遣

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	46	41	46	45	44	44	44	41	42	43	45	47	528
利用回数	276	233	275	267	249	243	260	218	224	206	226	287	2,964

(2) 障がい福祉サービス事業

① 居宅介護・重度訪問介護サービス：障がい者へのヘルパー派遣

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	10	11	11	11	10	10	10	10	10	9	9	8	119
利用回数	123	119	136	151	125	125	137	129	124	120	110	117	1,516

② 行動援護サービス：知的・精神の障がい者への外出時における必要な援助

利用実績 なし

3 受託事業

(1) つるぎ町地域支援事業 家族介護者交流事業

令和3年3月上旬にやすらぎの郷 四国健康村への日帰り研修旅行を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により開催を中止した。

(2) つるぎ町養育支援訪問事業（受託先：つるぎ町） ※R2より新規

様々な原因で養育支援が必要となっている家庭に、個々の家庭が抱える養育上の諸問題の解決、軽減を図る事業の一部（育児・家事援助）を受託し、ヘルパーを派遣した。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
利用回数	0	0	0	0	5	12	0	0	0	0	0	0	17

(3) つるぎ町地域生活支援事業 移動支援事業

利用実績 なし